

### ボルグワーナー、東京で開催の第15回 EV・HV・FCV技術展

#### (EV JAPAN)においてeモビリティ向けソリューションを展示

- 2024年1月24日13~14時にメディア向けラウンドテーブルを開催
- 事業戦略「チャージング・フォワード2027」を日本で初めて紹介

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(NYSE:BWA/ 本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frederic B.Lissalde)は、2024年1月17日、東京ビッグサイトで開催される第15回 EV・HV・FCV 技術展 (EV JAPAN)において、最新の事業戦略「チャージング・フォワード 2027 (Charging Forward 2027)」と、革新的で持続可能なボルグワーナーの製品がどのように OEM の e モビリティへの移行をサポートしているかを紹介します。東7ホールの E66-50 ブースでは、最新の統合ドライブモジュール、先進の熱管理製品、電動トルクベクタリングなど、車両の電動化をサポートする幅広い技術を展示します。

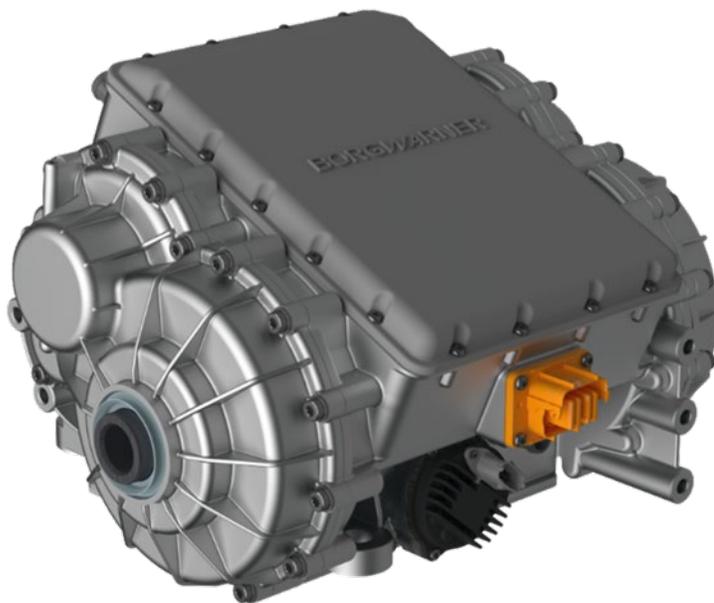
ボルグワーナー・モールシステムズ・ジャパン株式会社、代表取締役社長の三島邦彦は、「EV JAPAN は、当社の製品やシステムソリューションを紹介し、最新のチャージング・フォワード 2027 戦略に対する理解を深めていただく絶好の機会です」と述べています。

ボルグワーナー eドライブ・エンジニアリング・グローバル・ディレクターのベルンハルト・シュミット(Bernhard Schmitt)は、「従来の電動ドライブトレインに代わる、効率的で省スペース、かつコスト効率の高い選択肢を OEM に提供できる、最新の統合ドライブモジュールを発表できることを特に楽しみにしています」と述べています。

1月24日のメディアラウンドテーブルでは、次世代統合ドライブモジュール iDM180 を日本市場向けに発表します。高速で極めてコンパクトな 800 ボルトの e ドライブ (eDrive) は、前世代の電動ドライブトレインと比較し、効率の向上、小型化、低コスト化を達成しています。デファレンシャルを中空ローターシャフトに一体化した独自のデュアルレイシャフトギアボックス構造を採用し、パッケージングを最適化することで、一般的な C および D セグメントの iDM と比較して 25%以上の体積削減を実現しています。東 7 ホール、E66-50 のボルグワーナーブースでは、個々の用途に合わせてカスタマイズ可能なフレキシブル・プラットフォームとして実績のある iDM146 も展示します。

ボルグワーナーのブースにはさらに、充電効率、耐久性、航続距離を最大化するためにバッテリー温度を最適に保つ高電圧クーラントヒーター (HVCH) や e クーラーなどの熱管理ソリューションを展示します。

また、ボルグワーナーの電動トルクベクタリング・ディスコネクト (eTVD) ユニットを展示します。これは、リアアクスルのモーター1つだけで、トルクベクタリングとディスコネクト機能の両方を実現するものです。トルクベクタリング機能を備えた電気自動車で使用される一般的なツインモーター方式と比較して、コスト、重量、回転エネルギー損失を低く抑えます



ボルグワーナー、東京で開催の第15回 EV・HV・FCV技術展 (EV JAPAN) においてeモビリティ向けソリューションを展示

## ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界のeモビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本リリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれるかまたは言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の直近のForm 10-K年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第7項「重要な会計方針および試算(Critical Accounting Policies and Estimates)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、性質上、将来予測に基づくものです。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と認識を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきものではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の代表的な例として次のものがあげられます。当社または当社顧客に影響を及ぼす供給停止(受託製造会社(OEM)顧客および当社を含むそのサプライヤーに影響を与えている現在の半導体チップ不足等)、商品の入手可能性や価格及びこれらのコストに関する顧客との交渉において期待されるレベルの回収率を達成できないこと、OEM顧客を含む既存および新規競合会社との競合、急速に変化するテクノロジー(主に電気自動車関連)およびそれに対する当社の革新能力に関連する課題、新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる生産停滞等)、電気自動車の需要予測および電気自動車売上成長率の予測の困難、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済の潜在的混乱、買収対象を特定し許容できる条件で買収を完了する能力、買収から期待される利益の適時な実現の不実施、分割取引が意図した利益を達成できない可能性、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右され、需要縮小の可能性がある)への当社の依存性、大手OEM顧客への当社の依存性、金利の変動および外貨の為替レートの変動、様々な情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、様々な申し立てに関する訴訟を含む、既存または将来の法的手続き、または関連する訴訟を含む政府の調査の行方、当社が事業を展開している国における税金や関税などの法規制の将来的な変更、将来の買収または売却の可能性がもたらす影響、直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスク、など。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

### <報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、小野田

TEL: 070-4303-7215(中井)、090-9031-5032(小野田)

EMAIL: [borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp)